



## おもてなしの心で 地域医療創生

### Lift Endoscopy & Minimal Incision Surgery with Rural Hospitality

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

平成28年 元旦

佐野市民病院  
院長 橋本 大定



佐野ブランドキャラクターさのまる



見る猿 聞く猿 言う猿 考える猿 やる猿

#### 院長談話

#### 「佐野の五猿」

院長 橋本 大定

→ 次ページをご覧ください!



### \* クリスマスコンサートを開催しました! \*

11月28日(土) クリスマスコンサートを開催しました。院内保育所のみなさんの発表では、かわいい子どもたちの姿にほっこりし、牧野庸子先生プロデュースソプラノコンサートでは、美しい歌声に魅了されました。懐かしい歌を一緒に口ずさむ患者さまの姿がとても印象的でした。



10年くらい前のことになりますが、僕は、自身の健康維持のため、多忙な外科臨床の合間の週末は、ウォーキングを趣味として楽しむこととしていました。関東の海岸を辿り、継ぎ足し継ぎ足して辿りついた果ては、西は伊豆の下田、東は大洗までが限界で、次は関東の3大河川を制覇しようと、大利根の河口銚子から堤沿いの道を辿り、鬼怒川を経て、例幣使街道を上り、一路東照宮を目指した時のことです。

アスファルトで舗装された日光の山道を登ってゆくと、道が二手に分かれ、一方が進入禁止となっていました。「車でなく人が歩いていただけだから、問題ないよな」と友と語りながら、段々と緑が深くなり木々の梢がかすかに揺れ動くのを、「さわやかな山風が吹くなあ」と楽しんでいるうち、ふと、気がつくと、かなりの数の日本猿に囲まれていたのです。

すると突然、10メートルくらい前の大木の枝から、1匹の大猿がアスファルトに飛び降り、牙をむき、顔を真っ赤にして、僕たちに向かって走ってきたのです。女房も一緒だったので、僕はとっさに、道路際の折れた木を拾い応戦しましたが、「周りの猿達と一緒にかがってきたら大変」と、しんがりを務めて棒を振り回しながら、さきの分岐点まで戻り、幸いにも通りかかったタクシーに飛び乗りました。

「日光の猿は凶暴なんだねえ」と、運転手さんに話かけると、「実は先日も、ふたりの女性ウォーカーが襲われ、逃げ出したところ追いつかれてふくらはぎを噛みつかれ、病院で治療を受けたばかりですよ。だから、進入禁止になっているんですよ」との話に、「やはり、逃げたらあかんのですね」と応じたものです。

ところで、日光東照宮の表門をくぐって左手にある神厩舎の長押の上には、**三猿**が鎮座しています。**三猿**は、将軍家光が家康公を祀るために造らせたもので、3匹の猿が両手でそれぞれ目、耳、口を隠している意匠で、「見ざる、聞かざる、言わざる」という、人の世を生きていく叡智を示していることは皆さんもご存知のことでしょう。

でも、よく考えてみると、支配者にとって、「見るべきものを見ず、聞こえているのに聞かないふりをして、なにも言わない」従順な人民ほど都合のよいものはないのです。

リーダーの条件は、まさに逆で「まずは現場を見、ひとの話をよく聞き、言うべきことは言う」という**反三猿**は必須で、それに加え、「対策をよく考え、先頭に立って実行して見せる」という**五猿**「見る猿、聞く猿、言う猿、考える猿、やる猿」が重要なのではないのでしょうか。

最近、組織の衰退が問題となっていますが、「現場をよく見ず、部下の話もよく聞かず、やらずに言うだけ」のリーダーを抱えた組織の行く末は知れていると言うべきでしょう。

栃木の県南地区には、広大な無医地区が広がっています。地域医療を支える4つの僻地診療所の拠点病院として、その連携や再生に取り組み、18ヶ月が経ちました。寸暇を盗んで繰り返している唐沢山行（標高240m）で未だ出会っていないのですが、僕は、唐沢山の**五猿**を心に、日々の診療に取り組んでいます。

「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ」

山本 五十六

権現様の杜を守っているあのボス猿は、今でも戦国の世の気分でのしょう。  
しかし、平成のリーダーは、あれでは務まらないのです……。



## ＊ ＊ 常勤医師紹介 ＊ ＊

わかまつ ひろゆき  
若松 弘之 医師（聖マリアンナ医科大学卒）

### ＜若松医師からのメッセージ＞

健康管理センター専任として、平成27年4月より勤務しております。当院では、がん検診に力を入れております。

県南部でいち早く導入された大腸3D-CT検査、カプセル内視鏡検査の他、昨年9月には最新の上部内視鏡検査機器も導入され、各科の医師や臨床検査・放射線技師の連携、協力により迅速に確定診断に至っております。

がん拠点病院を含む周辺医療機関との連携も図り、当院で出来る救命可能ながんの発見と予防的治療開始のきっかけになるよう、地道に活動していきたいと思っております。

## ＊ ご寄附を いただきました ＊



佐野法人会女性部さまより、  
タオルとぞうきんのご寄附を  
いただきました。

ありがとうございました。



## ＊ ＊ 市民講座のお知らせ ＊ ＊

### ♥ 1月 鼠径ヘルニア(脱腸)について

日時：1月15日(金) 午後4時 ～ 5時

講師：梅村 彰尚 医師（東和病院外科部長、当院 非常勤外科医）

### ♥ 2月 あのときめきをもう一度

### ～人工心臓のおはなし～

日時：2月2日(火) 午後2時 ～ 3時

講師：西村 隆 医師（東京都健康長寿医療センター心臓外科部長、  
当院循環器内科外来担当医）

会場：佐野市民病院 A棟5階研修室 受講料：無料

申込方法：地域医療連携室に直接、またはお電話でお申込みください。  
地域医療連携室 電話 (62)-9024



## さのまる立像が設置されました！

12月21日、さのまるの立像（高さ、約160cm）が、当院正面玄関の待合ロビーに設置されました。

この立像は、佐野市新庁舎の完成を記念して作られたものです。

岡部市長とさのまるも駆けつけ、橋本院長、福光統括長と一緒に立像の設置をお祝いしました。



冬場には脳卒中や心筋梗塞の発症が増えます。これは寒くなって血圧が上昇することも一因ではありますが、水分補給も大いに関わっています。

寒くなってあまり汗をかかなくなり、のどの乾きを自覚しにくくなる冬場は水分摂取が少なくなります。水分摂取が少ないと、血液の粘度が上がり、いわゆる「ドロドロ」の状態となります。ドロドロ血液によって血管が詰まりやすくなり、結果として脳卒中や心筋梗塞を引き起こす可能性が高くなります。

また、この時期は忘年会や新年会など飲酒の機会が多くなります。アルコールには利尿作用があるため、飲酒が過ぎると体は脱水状態となります。アルコールを飲んだら意識的に水分を補給して、脱水状態を防ぎましょう。

風邪対策としてもうがい、手洗いに加えて「水分補給」も大事な予防策のひとつです。

風邪やインフルエンザの原因となるウイルスは、乾燥した状態で活発に活動します。反対に湿度50%以上になると活動が急激に低下します。水分補給は喉や鼻の粘膜をうるおしてウイルスの侵入を防ぐと同時に、侵入したウイルスを痰や鼻水によって体外に排出する作用を助けます。

また、風邪をひいてしまったら発熱や食欲低下、下痢、嘔吐などの症状により体からの水分排出が多くなりますので、普段以上にきちんと水分を補給するようにしましょう。



## 外来診療のご案内

 

<受付時間> 午前8時～11時 : 午後1時～4時

<診療科目> 内科／循環器内科／呼吸器内科／消化器内科／消化器外科／麻酔科／  
脳神経外科／小児科／婦人科／眼科／皮膚科／泌尿器科／  
耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／整形外科／放射線科／外科

<休診日> 第2・4土曜日／日曜日／祝日  
(\* 第1・3・5土曜日は、午前中のみ診療しております)

<診療予定> 事前にお電話でお問合せください。

予告なく診療予定が変更になる場合がございます。事前にお電話等でご確認をお願いいたします。また、診療の予約、キャンセル、変更は下記の時間帯にお電話をお願いいたします。

**\*お電話での受付時間\*** 月曜日～金曜日 午後2時～5時30分

### ○糖尿病・腎センター○

<診療日> 月曜日～土曜日(午前・午後)  
<休診日> 日曜日(\*祝日は診療しております)

〒327-0317 栃木県佐野市田沼町1832番地1  
【TEL】0283(62)5111(代表) 【FAX】0283(62)0811  
佐野市民病院Eメール [sinsoumu@sanoshimin-hp.net](mailto:sinsoumu@sanoshimin-hp.net)  
佐野市民病院ホームページ <http://www.sanoshimin-hp.net/>

